

平成23年度 唐津市立馬渡小中学校 学校評価計画

1 学校教育目標				
思いやりを持ち(徳),自ら学び(知),心身を鍛え(体・情),21世紀を生き抜く児童・生徒の育成				
2 学校経営ビジョン				
【めざす学校像】	明るく、活力に満ち溢れる学校	品位と風格のある学校		
【めざす教師像】	教育理念に支えられた教育愛と使命感のある教師	研修に励み、実践的指導力を磨く教師		
【めざす児童像・生徒像】	すすんで自分のよいところを伸ばす、児童・生徒	すすんで自分の力を生かす児童・生徒		
3 本年度の重点目標		4 前年度の成果と課題		
基礎学力の定着をめざす学習指導の充実 心を育てる生徒指導の充実 開かれた学校づくりの推進 小中一貫教育の推進		校内研究を通して、小中の全教科・領域で「学び合い」を取り入れた授業を進め、自分の思いや考えを伝え合う力の育成と授業規律の確立、学習習慣の定着を図ってきた。 佐賀県学習状況調査の結果を踏まえながら、施設一体型の中小併設校の利点を生かし、小中一貫教育を推進し、指導体制の工夫や授業の活性化を図り、学力の向上につなげていきたい。		
5 総括表				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	学校経営方針	児童・生徒目標の周知	児童・生徒、保護者、教職員に周知する。 認知度を85%以上にする。	・各教室に掲示する。 ・学校便り、育友会総会、学級懇談会等で周知し、具体的取り組みを説明する。
	開かれた学校づくり	地域と共にある教育活動の展開	主な学校行事への参加率を85%以上にする。 学校ホームページの更新を週1回以上行う。 地域参加の行事を企画・開催する。	・学校便り、育友会総会、学級懇談会等で周知し、具体的取り組みを説明する。 ・参加しやすい方法を工夫する。
教育活動	学力向上	少人数指導・TT指導等による基礎・基本の定着 発展的な内容への取組	唐津市基礎学力テストの通過率を80%以上にする。 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査の通過率を前年度比+5ポイントをめざす。	・学習内容が定着していない児童には、補充指導を朝の時間に行う。 ・児童が興味・関心をもつような授業の導入や発問などを工夫し、指導計画を立てる。 ・学習状況調査の分析を行い、できていない問題の傾向を把握し、授業の指導に活かす
		授業における「学び合い」の場の設定と工夫	それぞれの学年・教科において、「ペア学習」「グループ学習」などの学び合いの場や方法の工夫を行う。 校内研究において、全員1研究授業を実施する。	・校内研究を通して、学び合いを取り入れた指導案の作成と共有化を進める。 ・「学び合い」についての講師招へいと提案授業の実施
		授業規律の確認と徹底	小・中学校で一貫性・連続性のある授業規律(馬渡っ子スタイル)の再検討と児童・生徒への指導の徹底 中学校版「学びのてびき」の配布と小学生版の作成・配布	・「馬渡っ子スタイル」を再検討し、実践につなげる。 ・授業規律に関する意識調査を実施し、分析・改善を行う。
	生活動	小中学校の職員の授業交流の推進	中学校職員が小学校の授業に、出授業として担当する時間を、前年度比20%アップさせる。 中1ギャップの解消のために、小学6年生段階で一部強か担任制を取り入れる。	・中学校職員が、小学校の授業に出授業として担当する時間を前年度以上に増やす。 ・中1ギャップ解消のために、小学校6年生段階で、一部教科担任制を取り入れる。(国・社・算・理・音)
		一人あたりの図書貸出冊数の増加と読書の質の向上 図書館利用の推進	朝読書の時間の確保と本の選び方についての指導 教職員や児童・生徒による「読み聞かせ」の推進 バーコードリーダーと管理システムソフトを用いた図書貸出しシステムの構築	・朝読書の充実 ・図書館だよりの発行 ・毎週木曜日の読み聞かせの実施 ・児童・生徒への図書館利用新システムの周知
		家庭学習の充実	学年に応じた家庭学習時間を確保する。 (10分～15分×学年 例：15分×6年＝90分) 家庭学習における自主学習を推進する。	・それぞれの学年の家庭学習時間の目標を掲示し、児童・生徒への意識化を図る。 ・「自分向上週間」を学期に1回設定し、自分自身の家庭学習の習慣を見直す機会をつくる。
		心の教育	道徳教育の充実	道徳の授業を年1回以上公開する。 児童・生徒の心に響く話を継続して行う。
	健康・体づくり	基本的な生活習慣の定着	「起床」「就寝」「食事」など、規則正しい生活習慣を身につける。 月目標を意識した生活を心がけさせる。 遅刻0を目指す。	・「自分向上週間」を学期に1回設定し、自分自身の生活習慣を見直す機会をつくる。 ・月目標を毎月各教室に掲示し、児童・生徒への指導を徹底する。
		食育の推進	全児童・生徒が毎朝ごはんを食べる。 朝食内容の向上について啓発を行う。	・食育便りの月1回発行。 ・朝食状況調査の実施。
	特定課題	小学校低学年の学習環境改善充実	基本的な学習習慣の育成	発表のしかたや授業の準備などの、基本的な学習習慣の基礎となることを、全児童に確実に定着させる。 教師の話や友だちの発表の時、体ごと向いて最後まで聞くことができるようにする。